



第1回公開シンポジウム

「わたしたちごと」としてのケア～
家族だけでも、専門家だけでもなく

日時 令和6年11月24日(日曜日) 13:00～16:00

手話通訳・文字通訳あり

📍 オンライン開催

[お申し込み] QRコード・URL



参加無料

https://supportoffice-jp.zoom.us/webinar/register/WN_IzPCgvl7TOG2msPhL2YFCA

少子高齢化が進む日本社会で、私たちが直面する複雑な問題に挑むために提案されたのが「ケアサイエンス」です。この新しい学問は、市民、行政、企業など多くの分野と連携し、新しいケアのあり方を模索し、実現するための活動です。今回のシンポジウムは、「ケアサイエンス」を中心に、誰もがケアし、ケアされる「ケア共同社会」を目指す3回シリーズの初回です。ケアの担い手、ケア・イノベーション、ケアのあり方について、第一線で活躍する専門家と共に、現状を共有し、未来への道筋を探ります。

問合せ先

東京大学先端科学技術研究センター
(熊谷研究室)
E-mail:info@touken.org

13:00～13:20

開会・挨拶・冒頭

大江 美佐里

司会

山本 則子

副司会

(日本学術会議連携会員、久留米大学保健管理センター准教授) (日本学術会議連携会員、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻高齢者在宅長期ケア看護学分野教授)

磯 博康

挨拶

(日本学術会議副会長、国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センターセンター長)

西村 ユミ

冒頭：「これまでのケアサイエンスの到達点と議論の整理」

(日本学術会議第二部会員、東京都立大学健康福祉学部教授)

熊谷 晋一郎

冒頭：「これからの取組」

(日本学術会議第二部会員、東京大学先端科学技術研究センター教授)

13:20～14:05

第一部前半：話題提供

熊谷 晋一郎

〔障害支援とケア〕ケアの依存先を分散することと自立：ユーザーとケアラーの視点から

(日本学術会議第二部会員、東京大学先端科学技術研究センター教授)

松岡 洋子

〔介護とケア〕地域資源で「したい・できる」の実現を支え合う

(東京家政大学人文学部教育福祉学科教授)

内富 庸介

〔医療とケア〕がん患者とともにあゆむケア開発

(日本学術会議第二部連携会員、東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座 産学連携教授)

14:15～15:05

第一部後半：話題提供

西村 ユミ

看護学からみたケアサイエンス

和氣 純子

社会福祉学からみたケアサイエンス

(日本学術会議第二部会員、東京都立大学健康福祉学部教授)

(日本学術会議第一部会員、東京都立大学人文社会学部社会福祉学教室教授)

山田 あすか

建築学からみたケアサイエンス

桐山 伸也

ケア情報学からみたケアサイエンス

(日本学術会議連携会員、東京電機大学未来科学部建築学科教授)

(静岡大学情報学部情報科学科教授)

熊谷 晋一郎

障害学・当事者研究からみたケアサイエンス

(日本学術会議第二部会員、東京大学先端科学技術研究センター教授)

15:15～16:00

第二部：議論「パネルディスカッション：ケアサイエンスの普及と実装に向けた到達点と課題」

森山 美知子

日本にケア共同社会を実現するには：失敗に学ぶ

(日本学術会議第二部会員、広島大学大学院医系科学研究科教授)